

R5年度保育園における自己評価のまとめ

一部検討を要し、今後さらに向上を目指す点（改善点）

2. 保育について

- 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画については“気になる子”と言われる子どもや発達がゆっくりである子どもの情報を全職員で共有しているが、そのことが指導計画へも反映できるように努める。
- 十分な玩具・遊具の準備・設備はあるが、更に意欲を高められるように環境を整えられているのかは要検討。

3. 健康管理について

- 体調管理において、家庭への周知も行いながら、通常の保育生活ができる状態での登園をお願いしているが、難しいこともある。引き続き一人ひとりの体調に合わせた保育ができるように努める。

4. 行事について

- コロナの5類への移行に伴い、行事も以前のように戻りつつあるが、全てを以前のように戻すのではなく狙いを明確にし、計画・実施の精査を行う。

5. 食育について

- “楽しく食べる”ことを目標にしているが、偏食・少食・咀嚼など全体的に課題が多い。家庭との連携を重視しながら進めていく。

6. 運営について

- クラス会議を適切かつ時間を確保して効率的に実施できつつあるが、内容に関してさらに深めるにはどうしたらいいかというのが課題である。

7. 保健・安全指導について

- 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策に関しては、見直し、共有をしつつ一貫性のあるものにする。

8. 研修・研究について

- 研修報告を園内で実施しているが、文書報告との併用で実施するため、もう少し時間確保ができるようにする。

1 1. 保護者支援について

- クラス懇談・個別懇談の実施を検討。特にクラス懇談会は保護者の子育て交流の場としていきたい。

1 2. 開かれた保育所づくりについて

- 地域の行事についてはコロナ以前同様開催され、参加できるようになってきた。従来行っていた園庭開放や新たな育児に係る「子育て相談」を検討する。

1 3. 情報について

- ホームページを充実することで細やかな情報発信を継続する。

引き続き行いより向上を目指す点

- 一人ひとりの子どもに丁寧に接することを意識し、保護者への情報提供や子どもの様子を伝えあうことを継続する。
- 保育士一人一人が責任を持って保育に携わり、日々の反省を踏まえて改善対策を考え実践していくことで、より良いチームでの保育が成り立っていることを自覚する
- 衛生面や感染症対策に関しては、看護師の指導のもと、個々の意識も高まり実践においての技術も身に付いてきている。
- 課題を見出し、確認し、改善していこうと努める姿勢を今後も持続していく。
- 季節感、伝統行事を子どもに伝えていくことが、日頃の活動や、食を通して十分に行われ意識できている。